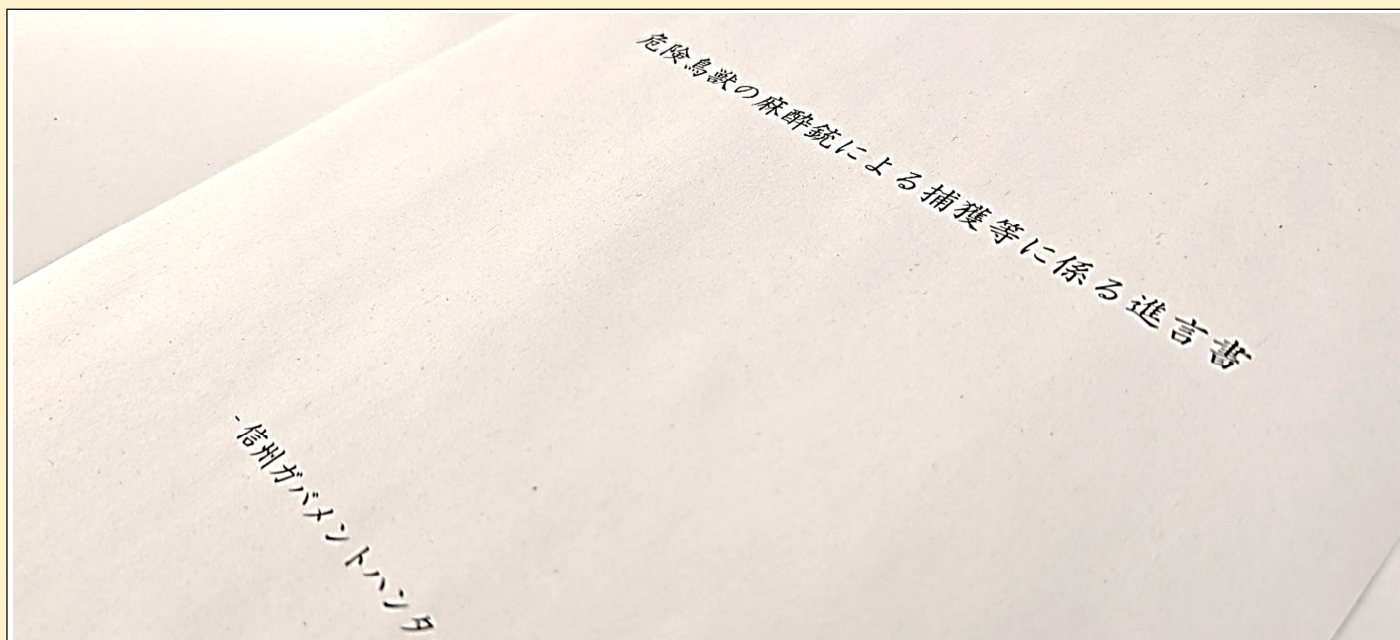


信州ガバメントハンター協議会 県に進言書 クマ等危険鳥獣の麻酔銃による捕獲について 市街地運用整理と体制整備に向けた支援に言及

信州ガバメントハンター協議会は、構成市町村からも関心の高い市街地等に出没したクマ等の麻酔銃による捕獲について、2 項目に及ぶ進言書を取りまとめ、8 月 24 日、協議会構成市町村を代表して大町市長から県林務部長に進言書を提出しました。



狩猟免許等を有する職員「ガバメントハンター」が在籍する小諸市と大町市が発起人となり、県内市町村を対象に、野生鳥獣対策を担当する職員と情報の共有、ノウハウの蓄積など、広域連携を図るべく発足した「信州ガバメントハンター協議会（事務局 小諸市農林課、大町市農林水産課、(株)Goat Plus）」は、県内外で事例の増える市街地等に出没したクマ等危険鳥獣の麻酔を使った捕獲について注目し、予てより協議会の会合等で、構成市町村を対象とした研修会や意見交換会を開催するなどし、県に進言書を提出する方針を決定、構成市町村と協議を重ねました。

今回、取りまとめた進言書は、人の日常生活圏に出没したクマに対し、麻酔銃を使用するケースでは、既存制度である都道府県知事の裁量による麻酔銃猟の許可と、昨年 9 月に施行された市町村長許可による緊急銃猟のいずれかによる運用が想定されるなか、現場状況に応じた制度の使い分け・両者が補完し合う関係性であることから運用の整理が必要であることや、麻酔銃猟に対応できる人材や体制が県内で充足していないことを受け、体制構築のための人材の共有、官民連携による取り組み、導入経費の支援の必要性について、進言内容を 2 項目にまとめた。8 月 24 日構成市町村を代表し大町市長から県林務部長に進言書が手渡されました。

■問い合わせ先

小諸市役所 農林課 林務係

TEL0267-22-1700（内線 2228） Eメール rinmu@city.komoro.nagano.jp